



勝光寺ホームページ

# 勝光

令和 5年11月号  
庄原市三日市町  
276-3  
浄土真宗本願寺派  
勝光寺  
Tel 0824-72-0552  
Fax 0824-72-0910

## 初参式



10月22日(日)に勝光寺本堂において初参式をお勤めしました。今年3家庭、五人のお子様とそのご家族にお参りいただきました。

初参式(ご誕生初参り)は、新しいのちをめぐまれたよろこびをご縁として、ご家族やご縁のある方がたが揃ってお寺にお参りをする儀式です。数日前から仏教婦人会の皆様が記念品のリースを作った準備をしていただきました。プログラム

記念撮影  
婦人長著お祝いの言葉  
讃仏偈のお勤め  
住職の法話  
記念品の贈呈

お参りの際に首からかけて着用する「式章」、手作りリース、アルバム等を記念品として差し上げております。

式の後には、本堂でお茶の接待がありました。

最初は緊張していたお子様方も、お茶とお菓子が振る舞われるころにはリラックスして、賑やかな声が飛び交っていました。

## 十一月十八日(土)

### 勝光寺報恩講

「報恩」は、恩に報いる、恩を報らせるとも読みます。私たちは親の恩や師の恩など、いろいろなご恩によって生きてこられたということを皆さんも感じていらつしやることでしよう。

それぞれ大切なことですが、報恩講の恩は、私たちが救ってくださる仏さま(如来大悲)、そして私たちに先だって生きていかれた方々の勧めによって念仏の教えに遇い、一人ひとりが生

きる依り処を教えてくださいました。ご恩のことです。

そのご恩に報い、私たちも先達の後に続いて、全ての人にかげられた仏さまからの「本当の願い」を共に聞いてまいりましょうという意味が、報恩講という仏事には託されているのです。どうぞご聴聞にお参りください。

『御齋(昼食)』の弁当注文についてののご案内

朝席・昼席を通してお聴聞していただける方には昼食の仕出し弁当を用意します。五〇〇円をご負担ください。

御齋を召し上がっていただけの方は、準備の都合上、十一月十日までに勝光寺までご連絡ください。

### 報恩講「お取り越し」法座

朝九時半 昼十三時

講師 福山市 崇興寺

枝廣慶樹 師

## 平和の集い

備後教区では、先の第二次世界大戦を初め、現在も続くウクライナ、パレスチナの戦争まで、全ての戦争犠牲者を対象とした追弔法要を10月3日に世羅町で勤めました。

お勤めの後、講師の神田香織師匠が、はだしのゲンをモチーフにした創作講談を公演していただき、当時の人々への思いを馳せました。



如来大悲の恩徳は  
身を粉にしても報ずべし  
師主知識の恩徳も  
骨を砕きても謝すべし

真宗門徒はいろいろな場で「恩徳讃」を歌います。親鸞聖人がお作りになった「和讃」にメロディーがついています。「身を粉にしても」「骨を砕きても」といった強烈な表現になっていて、強い印象を受けます。

この和讃は親鸞聖人の兄弟子であった「聖覚法印」が作成した表白文が下敷きになっていますといわれています。法然聖人の法要をお勤めする際に、その恩徳を讃嘆した表白です。「如来大悲の恩徳は」とありますので、「恩」も「徳」も

如来の大悲から恵まれたものであることが述べられています。

「師主・知識」とは、私を導いてくださった先達のことです。親鸞聖人にとつては、お釈迦様、龍樹菩薩、天親菩薩、曇鸞大師、道綽禅師、善導大師、源信和尚、そして聖徳太子や法然聖人といった人たちを挙げる事ができるでしょう。

これらの先輩の教えが親鸞聖人に届いたという事実にご恩を感じていらつしやるのです。誰か一人が教えを後生の人に伝えなかつたらそこまでです。止まるときはあつという間なのです。しかし、誰もやめることなく次世代へとつながっていききました。やがて親鸞聖人のところまで届くこ

とになったのです。「感謝せずにはおられない」、そんな思いが親鸞聖人の心身から湧き上がってきたに違いありません。

親鸞聖人にとつて師主・知識から受け取った「他力」の教えは、「全ての衆生のため」であると共に、ある一面では「この私のため」なのでした。私自身のあり方が問われ、存在が揺すぶられるような教えに出会えたから、「ああ、この教えは私のためにこそあつた。」と気づかれたのです。

報恩講はそのことについて新たに気づかせていただく機縁でもあります。

### 勝光寺仏教壮年会 秋季研修会

1月5日(土) 勝光寺仏教壮年会の秋季研修会を予定しています。

壮年会では年末に向けて各行事を予定しています。ご参加のほど、よろしくお願いいたします。

#### 境内清掃奉仕

1月3日(日) 午前8時から  
築山の落ち葉の処分を中心にご奉仕いただきます

#### 除夜の鐘撞き・修正会

1月3日(日) 午後1時半頃から  
鐘撞堂をライトアップし、境内に竹灯籠を並べて、厳肅な雰囲気の中、除夜の鐘撞きとお勤めを行います。

### 仏教婦人会

#### リフレッシュの会

11月14日(火)

午前10時～11時

勝光寺本堂

勝光寺仏教婦人会主催のリフレッシュの会を開催します。本堂で誰でもできる易しい体操で体を伸ばし、心も体もリフレッシュしましょう。

講師 石井克子 先生

#### 比婆組若婦人研修会

11月12日(日) 西念寺

庄原市内の浄土真宗寺院の組織である「比婆組」主催の研修会が開かれます。各寺院から仏教婦人会の会員さんが参加し、研鑽を深めます。

#### 新米の御奉納

今年も新米の御奉納をいただきました。このお鉢は、報恩講法座から、お仏飯としてお供えさせていただきます。

